

# 寺報

龍正寺

日なた 148号

如蓮華  
在水

日延



<令和 2年 9月>

宝龍会  
護持会

# 令和2年の蓮の華の成長記録



長雨の影響で蓮の華が咲く数が少ない中で、1本元気に一番大きく育ちました。

高さは身長 180 cm ぐらいまでの背丈になり、葉っぱも多きいのは直径 65 cm 位まで成長しました。

華は、途中で枯れたり、大きく育たず、小さかったり等々ありましたが、蓮の成長を見ていると、人生みたいに感じます。

泥の水から成長し、大きく葉を広げ栄養を得て、幾たびの困難を経て一凛の華を天上高く咲かせる、そんなイメージの元自分に置き換えると、どんな困難な環境に置いても、このように身を結び華を咲かせるという感じでしょうか。

## 蓮 職 一 言

暑い毎日がつづき、新型コロナウイルス感染症で、間ほならぬ今日です。

当山門前には、鉢の蓮があり、日照不足で、1輪の花が咲き、葉が多く繁りました、毎年植え替えています。今年も花も葉も、下から見上げる高さでした。

花は水面から 185cm・180cm・175cm 3本  
130cm・120cm・100cm が 8本 咲きました。

葉は 175cm が一番高く、直径が 64.5cm・63cm・

60cm、小さめが多く、緑の葉に目を癒しくれました。

法華經の中に『始蓮華在氷』と仏様が、お説きになられています。

世間の法に染まらざること、蓮華の氷に在るが如しというお教えです。

泥沼たる氷をこの世中にたとえられ、穢れに染まることなく真っ直ぐ前を見て進むことです。

現実、私たは色々な物に染まりやすいと思いますが、事実は事実を認められた時に美しい蓮の萌芽が

見えてくるでしょう。

蓮は早朝に開花し昼頃は閉じてしまいま  
す、蓮華の様に清らかな心で一日をお過ごし  
下さい。

南無妙法蓮華經

合掌

## 「お題目のお力」

私が広島市より愛知県に移住して早26年が過ぎました  
そして、この龍正寺とご縁を頂いたのが翌年1995年でした。  
随分と前にご縁を頂いたにも関わらず私が寺院  
に参拝に行くのは年に1回程でした...

そんな私が今から3年前に私情により家庭崩壊という  
危機をきっかけとし日々参拝を心掛け、手を合わせお題目を  
唱えまく事で、これまでの自分を見つめ直し、自分の生き方に疑問と  
反省の繰り返しの日々でした

毎日が眠れない夜が続き苦しい日々でもありました。  
これまでの私は神仏の存在や、お題目のお力も理解できずに、  
ただこの苦しい現状を打開するべく寺院を訪ね、佐口上人  
に頼りました... 恥づかしい限りです  
そんな折に佐口上人より「お題目により苦しみは薄皮を剥ぐ如く」と  
教示して頂きました。

私はこれまでの生き方に後悔し、人生を変えたいと願いを込め、  
自分の出来る事をしつと行こうと心に決め、3年前より  
毎日1行ずつ經本をノートに写経し、また佐口上人のお力を  
戴き、父母への供養とし月回向にお祈りを向けたりあり。そして、  
手を合わせお題目を行い始めた頃、私自身に摩訶不思議な事が起き始めました...

節分祭の時には御宝前で三焼香した時に、私の臉に  
ピカッと光が射して臉が黄金色に輝いたり...  
日々の参拝の際には少女人形のビンガウ姫様の首が  
素早く左に動いたり...  
また私の夢の中に男生のお坊様が現れて  
「私が見ている心配するな」と月言以下された。

あれから3年が経ちました...  
私は毎日欠かさず自宅仏壇に三経本とお題目を唱えて  
行く日々を送っています。  
そしてお題目のお力と佐口上人の撰法華経での御祈禱の  
お力を戴き、今では家の中は怒声は消え、妻と子供達の  
笑い声が日々聞こえています...感謝をいっぱいです。  
あの出来事がなければ、今私は何も変わっていない事と  
思っています。

またあの崩壊のきっかけを作ったのは  
仏縁である事に思っています。

今では龍正寺に居る居場所に拘らず、心の中で  
お題目を唱える私がいます。  
もっともっと自身を精進し、変えようと思っています。

## 夜に光る (道標)

生きるということは、その時代の渦にのまれていること。  
生まれた時、場所ですぐに逃れられない宿命・命題があるのだと思う。

人はそれぞれに 誰かの道標として生きる課題をもっているのではないのでしょうか？

課題は個々に違い、受け取り方も違うもの。

道標となる灯火は小さな光かもしれないが、やがて大きな灯火となりうるかもしれない。

人は何処を目指しているかもわからなくなる。

自身もそうである。日蓮宗との縁を小さい頃から頂いていたものの、この数年の苦悩の中、一筋の道のようにここまで歩んできたように思います。

人生に定めがあるのだとすれば何であろうか？

今月仕事で休みが多く 自身と向き合う(内観する)いい期会であった。

ハードな勤務であったので、体を休ませる時間としました。

再度、仕事の振り返りをしていき、答えを模索して行こうと考えるようになりました。

手を合わせ努力をすれば、良いも悪いもすべて結果として出てくるであろうという思い。

下を向いていたら今しか見えない、そんな自分ではなく、上を向いて未来を見る自分になること。

おのずと道が開かれると信じる。

そして、誰かの道標となるべく生きる選択をしていきたいと思います。

日々精進あるのみです。



## 信仰に感謝

6月末に緊急入院した主人もようやく休養を経て仕事復帰が  
出来ました。今回も助けて頂きました。

平成26年9月 右中大脳動脈瘤、令和1年9月 急性大動脈解  
離、そして今回の狭心症・心筋梗塞にて経皮的冠動脈形成術  
と何度も命をかけた大手術を乗り越える事が出来ました。

主人の病気をきっかけに、私達家族が信仰心を改める事が出  
来ました。

主人も今回は現状をしっかりとわかっていて、懸命に立ち向か  
っていました。退院の日、喜びと感謝を、大変お世話になった、

佐口上人様、忠安寺進藤上人様にお伝えしました。”与えて頂いた  
命です、大切にしてください。”と激励を頂きました。

忠安寺の進藤上人様からは、”あなたがお題目を写経して、今まで  
の事を懺悔しなさい。まずは懺悔する事で、心から報恩感謝で  
きるでしょう。”と教えて頂きました。

はじめは、主人の事？何を懺悔するのか？と聞いていました。

”御題目を唱える事も大切ですが、御題目を書写する事で何か  
を貰った喜びを頂けるよ。”夫婦で書けるといいね。きっとあなたが書いて

いと、御主人も書かれますよ、”と言われました。

わからないままにも心から懺悔・感謝の御題目を書きました。

すると素直に色々な事を振り返り気がきを感じる事が出来ました。

心か穏やかになりました。主人も一緒に御題目を書き出すようになりました。

私自身は長年御題目・法華経を写経していましたが、それはあくまでも「書いている」だけに過ぎなかったと気がつく事も出来ました。

今、書いている御題目は、決して書いているだけではない!!

一文字・一文字が仏である・心であると思いつながり筆を走らせるようになった。

今、生きている事は決して奇跡ではない! 御神仏の御守護・御加護です。

ここからの人生を生かさせて頂けている事に夫婦で御題目を書き写して報恩感謝徳していきます。

感謝のお手紙ありがとうございます  
うございませす。

某檀信徒様より頂きました  
御本人様への御了解をいただき  
まして寺報日なたに投稿させ  
ていただきませす。

おひんさまへ

猛暑のが続きました 暑いな暑いな

入目とおかげさまの日常をゴウ守し護ご

ただけましたよろこびとお題目の

暑い暑いおかげさまに心よりの御礼を

申しあげさせていただきます

仏縁に心よりのよろこびでございます

時代の移り変りの中でとまどう

ことばかりでございます何となく不承で

あります。いつの時とお堂への参拝の

折には若い役員の皆様にはお世話に

なります中ごん介をおかけ致すばかりで

ございますどうぞ皆様によろしく

お伝えさせていただきます。お返し一杯で

御礼を申し上げますありがとうございます

それと暑さ法華経に縁がただけ

ましたことが勿体なくこの上となくの

喜びでございます

おひざえへの参拝とすうかり横着を

致しておりますことどうぞお話し

下さりませ。まだまだ暑さと続いて

ゆくことなじます。どうぞご自愛下まさせ

# < 9月行事予定 >

9月13日(日) 10:00~

宗祖日蓮大聖人報恩会  
鬼子母尊神  
七面大明神 ) 祈禱会  
龍口法難会  
大古久尊天祈願会

終了後

役員会

22日(火) 13:00~

秋季彼岸中日法要会

# < 9月住職の予定 >

寺院 法務

# < 9月の予定 >

9月6日(日)

各々の時間で

清掃、準備

↓

12日(土)

↓

↓

13日(日)

法要後

片付け、準備

14日(月)

各々の時間で

清掃、準備

↓

21日(月)

↓

↓